

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成28年3月31日
タイトル	「くわい感謝の会」に招待されました！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

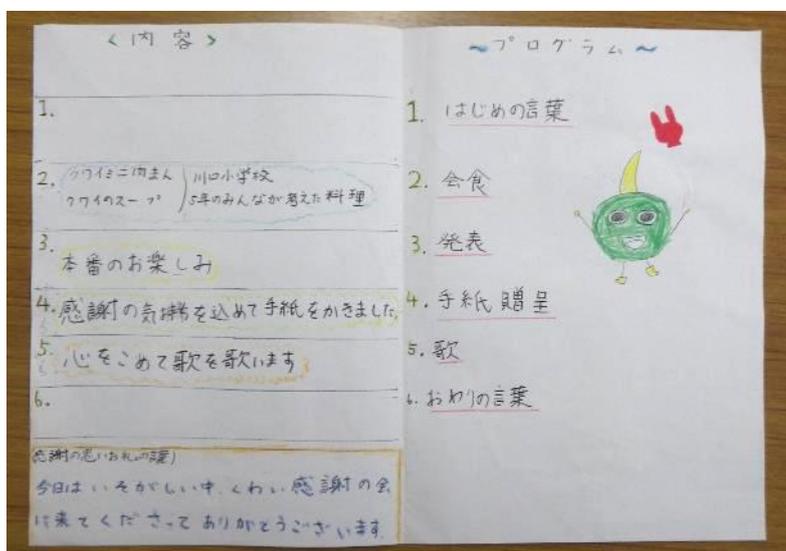
平成28年3月1日（火）福山市立川口小学校5年生88名が、今年度「くわい」を通じて知り合った関係者に感謝の気持ちを伝えたいと「くわい感謝の会」を催され、招待していただきました。

川口小学校5年生は「くわい」の栽培をし、農家の方から生の声を取材することで、農業用水のしくみや環境、歴史、食文化など多方面について関心を深めることを目的とした学習に取り組んでおられます。

「くわい感謝の会」には、くわい農家、福山市農協、福山市地産地消推進課、水土里ネット福山から参加しました。

学校に着くと学校の玄関で迎えの係の子ども達がすでに待っていて丁寧に迎え入れてくれ、会場へ案内してくれました。

会場では、手作りのプログラムをいただき、お茶と手作りくわいチップで、もてなしてくれました。



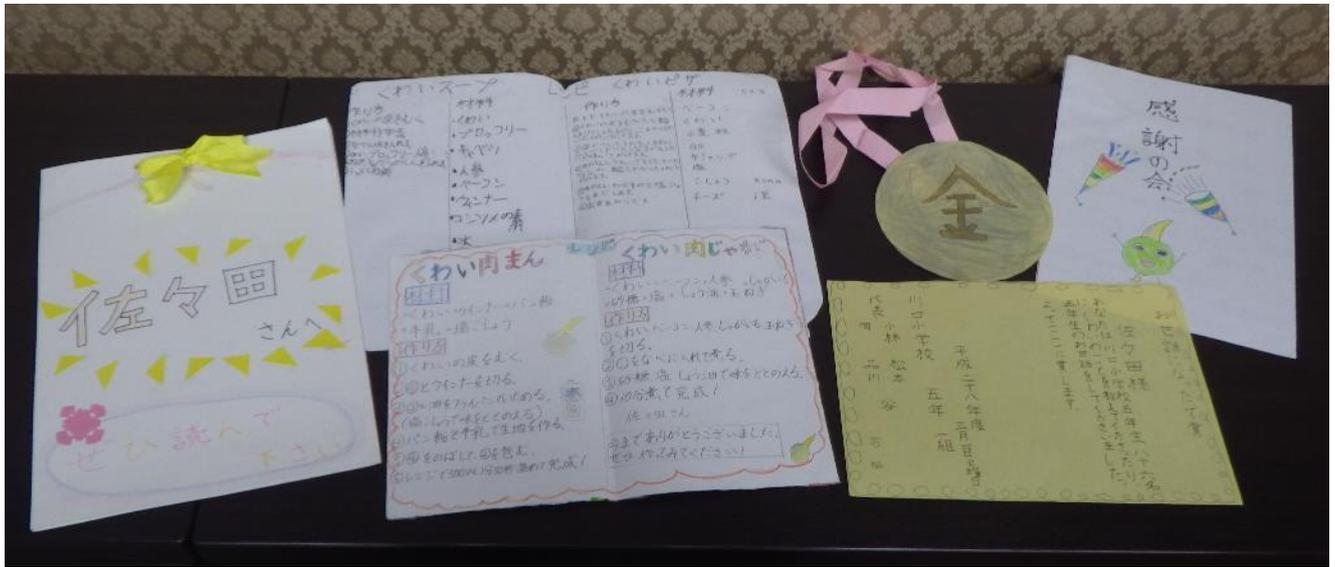
参加者が全員揃ったところで「くわい感謝の会」が始まりました。プログラムに沿って①始めの言葉としてくわいを通じて一年間、いろんな方にお世話になった事など感謝の気持ちが発表されました。

子ども達の心のこもった言葉を聞き、出前授業や農業体験の事を子ども達にうまく伝えるようにできたかなと思い出しました。

②の会食は、子ども達が考えたくわいを使ったレシピの中から、それぞれのクラスで1番人気の「クワイのスープ」と「クワイミニ肉まん」をいただきました。



「クワイのスープ」は調理実習の取材でいただいた事があったのですが「クワイミニ肉まん」は初めていただきました。パン粉と牛乳を練って皮にしていますが、しっとりしていて中の具にくわいが入っていて、ほろ苦くてとてもおいしかったです。



レシピや感謝状、金メダルをいただき、出席者全員で金メダルをかけて発表を聞きました！

③発表は、一年間学習した内容をグループごとに、出前授業で学習した「くわいの歴史」「ふくやまsunブランド」「地産地消」「くわいの生産方法と出荷、流通」「農業用水」「土地改良施設」について、また農家の方のくわい植付け、収穫の見学から学んだ事、校庭のミニ田んぼでくわいを植付け、栽培し収穫した事くわいを使ったレシピを考え、調理実習で作った事などが発表されました。この一年間で学習した事をよく理解して分かり易くまとめて発表され、笑顔いっぱいのとても楽しい発表でした。



水の大切さとして七社用水の発表では、川口町を流れている水が遠く離れた駅家町から取り入れられていて、除塵機でゴミを取り、きれいな水を流すように農家の人が苦勞していることや農家の人がきれいな水でおいしいクワイを作ろうとしていることが発表されました。

④手紙贈呈では、参加者へそれぞれ手紙が手渡されました。私がいただいた手紙には、七社頭首工用水の事を知り15kmも上流の駅家町から水が流れてきていることや除塵機でゴミを取りきれいな水を流すことや水の大切さに気付いたことなどが書いてあり、出前授業の内容をよく理解していて、心のこもった手紙を読んでとても感動しました。

手紙からの抜粋

「七社頭首工用水には、七社頭首工や石原隧道や丸川分水工があり、絶めつきぐ種のメダカが生そくしていて、とても水をきれいに保たれていることが分かりました。」

「くわいには水が大切だということを教えてくれてありがとうございました。365日の水の量が決まっていることやじょじんきできれいにしていることが分かりました。」

「わたしたちの家の周りには、くわい畑や田んぼ、畑がたくさんあります。その田んぼや畑をかんりするためにも川口にあるたくさんの水路は、なくてはならないものだと思います。」

「水路の水がきちんとかんりされていることによって、農家の人や田んぼや畑にかぎらず、わたしたちのくらしにも役立っていると感じています。」

「日ごろ、水はあってあたり前くらいに思っていたけど、水の大切さをあらためて気づきました。」

子ども達を目線で考え、農業用水について理解を深めてくれたことを感じました。みんなからの手紙は私の大切な宝物になりました。



⑤歌では、みんなで歌を披露してくれました。きれいな声で伸び伸びと歌っていて、聞いていて心が洗われるようでした。

⑥終わりの言葉では、改めてお礼を言葉と、この一年間の農業体験を通じて感じた事として「福山や川口を大切にします。」という言葉が印象に残りました。

自分達のふるさとの特産物である「くわい」を学習することにより、ふるさとに誇りを感じ、ふるさとを大切に思う気持ちが培われたことが分かりとても感動しました。

帰りは玄関まで見送っていただき、最後に「今日はありがとうございました。」と丁寧に挨拶をしてくれました。五年生全員が、何かの役割に着いて精一杯の「おもてなし」をしてくださいました。

川口小学校での出前授業や農業体験が定着してきたことを実感しました。引き続き、21世紀土地改良区創造運動を展開し、更に新しい事にチャレンジしていきたいと思えます。